

幼い頃...物心つく様になった頃...そして...学生の頃...と

^{わたくし}唯の心に 頭の中に...常に変わらず見えていたもの...
それは「白衣の佛さま」...

最初は足元から...少しずつ...上が見えだして...ある時...蓮池に...
それは「モネの画」様な蓮池...でした。

見えている物...を 自分で描きたくて「仏画」を習いに...
全容は未だ...と 言う様な...状態だったのです...が
その先生に少しずつ...みえている「...お姿...」を伝えながら
描いて頂いていました。

それでも その佛さまを お迎えする為に...
この後の人生を賭ける程の...想いには 至ってはいませんでした...
けれど...何故か...目を離せない何か...が。

平成 19 年 1 月年頭の会報に... (2007 年)

ず~っとお話させて頂いていた「花仏さま」を(降りて来られているお姿がこと細かく見え始めています...)
お迎え...お祀りさせて頂きたく準備を...と。

まず お姿にさせて頂きたく...「仏画」に その後「仏師」に(彫って頂く)依頼を...
それが「み仏さま・花仏さま」に...と 手順を踏んで「お迎え」させて頂く...予定です。

場所は...もちろん心に描く「庵」...は 未だ...望むべくもない...ので
今 この場所で...いかにして お座り頂けるスペースを 確保出来るか...を 思案中です
お迎えする...ことは「お守りする」こと...
そして「お守りし続ける」こと...です。

と書いています。

少しずつお姿を現され時...
はっきりと...生命を賭けて...お迎えしたい...これは ^{わたくし}唯だけの...
「佛さま」じゃない...との 想いが...はっきりして来たからでしょうか

その続きとして...
(^{わたくし}唯自身の...) 使命が終わり...^{よみ}黄泉の国に 戻るときが来ても
守り続けられること...それは 継続でも 継承でもなく
その場所に その「花仏さま」を...お祀りし...続けられること

それが残された方たちの 心の拠り所に代わるのでしょうか

唯^{わたくし}が伝えて来た事...これからも伝え続けること(唯^{わたくし}には79...という数字がそれが寿命...かと...)
そして 見守り続けられる...られれば...と そのことに望みを託したい...のです。

ただ「花仏さま」と「花不動明王さま」と もう一体の「み仏さま」のお姿が...
三体の仏さま...大きさも場所の広さも...と 難題が山積...していますが

まず「花仏さま」を 先にお迎えさせて頂いて後...ということで...
今の場所をどう改造・改装...するのか... スペースに限界もあります...が
何とか...したいし...するしか...ない...のです
唯^{わたくし}の気持に 拍車を掛けておられます。

いろいろ弱音を吐くと...小さな事は除いて下さる...のです。

と 言う事は...

しっかり取り組め...と いう事でしょう。唯^{わたくし}の最後の...使命・ご奉公が
始まる1年に...なるのでしょうか。

新しい年の始まりに新しい事業・業務...の 展開を仰せつかった...のです

そして今...

「白衣観世音菩薩さま」いえ「花ぼとけさま」です
白衣の後に色とりどりのお花が咲き乱れていて...「花不動さま」もおられました。
二体の立像...御仏さまと真ん中に座像のご本尊...
今見えているこの形で本堂の建立...を
書ききれない程の 想いや 形を抱えて...まだまだ夢に向かって進んでいるのです

前略

「師」を持たない 生きた人格との ふれあいを持たない
宗教には「力」が無いのでは...「人心の荒廃」が 及ぼす「危機感」を憂い...
心の拠り所を求める人々に必要なもの...

一つの宗派を興す事は 大切な事を 伝え広める役目が あります
神仏は ご自分の心に宿ります。それが 見えない方々のため
門を開き 抱え込み 写し出し 導く...

今 この今 人々が欲しているものは 本物の心に触れることでしょうか
「本物の心に出逢える」そんな お寺や 宗教の実現を 祈ります
庵主さまの供養は その続きの中にあります。

後略

1995.4.12(平成7年)

ある方のご依頼で...名古屋のお寺を「視せて」頂いたあと...
その会社の会長の方に...お送りした手紙...の一部です

忘れていました...こんな手紙を出していたことも...11年経って...
その時 一緒させて頂いた社長の方と お目に掛かる機会があり...
その後も続けて...「会員」継続して下さっていた...ので 忘れて暮らしていた...
のですが 今回...「会」で お話する事の中に...ある方への手紙を読み上げていて...

それに隠れて一緒に...手元に...

続けてお読みしている中で...
この文書に...辿り着いた...のです。

今まさに今...これこそ ^{わたくし}唯 自身に帰って来た...言葉で...あり...
心して 胸にしっかり抱き留めて...進め...と 仰せなの...でしょう

安楽寺...^{ゆいしん}唯心...そして^{かみ}神仏さまの言葉...伝え続ける意味...全てを含めて
このブログの中で...自身の役目をも^{おみせ}公開し...続ける...と

そして冒頭の「花仏さま」へと...戻りますが
ある時...仏画の先生に...「一冊の本」をお見せしながら...
「この方に「花ぼとけさま」を彫って頂きたいのです」と 話しました...
...ら

「^{ゆい}唯さん...それはムリやわ...」「何で?...ですか」
「この方は 今 飛ぶ鳥をも 落とすほどの ビックな方や...」
と...

でも...後日ある方とのご縁から...今回降りて来られた「聖天さま」の
御前立ち...「十一面観世音さま」を
お願いさせて頂きたい...と...願っておりましたら
それが叶う!!ことに...

翌21年3月...お目に掛かり...「十一面観世音さま」を...

ただ今

安楽寺に「聖天堂」にて...お祀りさせて頂いております...。
(このブログのトップページの...) 「十一面観世音菩薩」さま...です。